

浜通りにおける「コシヒカリ」の乾田直播栽培

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

水稻－水稻－水稻直播

2 担当者名

佐藤弘一、吉川学、大野光

3 要旨

近年、温暖化により水稻の生育期間の気温が高く、出穂期が前進している。担い手への農地集積が急速に進んでいる浜通りでは、乾田直播栽培導入による作期拡大が経営規模拡大に有効であることから、晩生品種の「コシヒカリ」について検討した。その結果、乾田直播栽培に導入可能であることがわかった。

- (1) 3月下旬から4月下旬播種で、基肥窒素量を肥効調節型肥料（商品名：LP コート 70）で6 kg/10a 施用した。
- (2) 出穂期は8月5～18日で、成熟期は9月15～10月10日であった（表1）。いずれの年も出穂期は安全出穂期晩限日より前で、成熟期は成熟期晩限日より前であった。

表1 「コシヒカリ」乾田直播栽培の生育状況

年次	播種日	出穂期	成熟期	稈長	倒伏程度	精玄米重	整粒歩合	玄米タンパク質含有率
	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(cm)	(0-400)	(kg/10a)	(%)	(%)
2021	3/26	8/18	10/10	93.2	9	548	72.2	6.3
	4/7	8/18	10/10	94.3	75	573	68.8	6.6
	4/21	8/18	10/10	97.1	219	540	71.0	6.9
2022	4/4	8/15	9/30	100.7	50	532	74.1	6.2
	4/13	8/18	10/3	99.6	75	674	73.8	6.5
2023	3/22	8/5	9/15	89.0	193	548	67.8	6.0
	4/5	8/5	9/15	90.4	125	722	73.3	6.3

注) 安全出穂期晩限日(出穂後40日間800°C確保できる最終日)8/31、成熟期晩限日(平均気温15°C以下となる初日)10/18、アメダス相馬の平年値(1991年～2020年)の最高気温、最低気温の平均から平均気温を計算した。

注) 精玄米重：粒厚1.8mm以上、水分15%換算値

注) 整粒歩合：粒厚1.8mm以上、静岡製機穀粒判別器（ES-1000）

注) 玄米タンパク質含有率：粒厚1.8mm以上、2021年静岡製機食味計（SP-500）、2022～2023年サタケ米粒食味計(RATA10B、RLTA10C1)による測定値、水分15%換算値

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立〔農林水産分野の先端技術展開事業（JPJ009997）〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 内島立郎,北海道,東北地方における水稻の安全作季に関する農業気象学的研究,農業技術研究所報告.A,物理統計 p23-113,1983.